

JICAボランティアプロフィール

小倉 大志（おぐら たいし） さん

ボランティア種類：青年海外協力隊

派遣国：ヨルダン・ハシェミット王国

配属先：知的障がい者支援団体 サナ

職種・指導科目：障害児・者支援

出発時住所：三重県津市

予定されている活動内容：

1. 企業からの要望に基づき、プログラムマネージャーと共に障がい者のアセスメントを行う。
2. 就労可能な障がい者と企業に対するジョブコーチ（現場実習、就労支援）を行う。
3. プログラムマネージャーの指導の下、職場開拓のためのプランに参加する。
4. 必要に応じて、新規授産施設の開拓、作業学習プログラムの策定と運用支援を行う。
5. その他、配属先が行う各種の活動を強化するため、新たな視点で助言・提案を行う。

活動内容と抱負：

障がい児を持つ母親が中心となって設立したNGOで、障がい児・者の社会参加、雇用機会促進を目的とした活動を行う。支援を行う上で、現場の環境を知らなければ何もできないので、まずは情報収集をしっかりと行い、良好なコミュニケーションがとれるよう語学取得に力を入れたい。

JICAボランティアプロフィール

山口 恵里佳（やまぐち えりか） さん

ボランティア種類：青年海外協力隊

派遣国：キルギス共和国

配属先：アクナラゾフ学校

職種・指導科目：青少年活動

出発時住所：三重県四日市市

予定されている活動内容：

配属先の英語教師と共に、以下の活動を行う。

1. 主に、5～8年生のクラスで、文法の教え方を提案する。
2. 各英語のクラスで、アイスブレイキングとしての歌やゲームなどを提案する。
3. 放課後に英語クラブを立ち上げ、生徒の会話練習を補助する。
4. 身近にある材料での教材作成を提案する。

活動内容と抱負：

任国では英語教員として派遣され、英語学習プログラムに関わります。具体的には、実践的・能動的な授業を展開しながら文法強化を図っていきます。これまでの指導経験や留学経験、大学での学びを生かしながら、派遣期間の2年間を過ごしていきます。

JICAボランティアプロフィール

久世 惇人（くぜ あつと） さん

ボランティア種類：青年海外協力隊

派遣国：ルワンダ共和国

配属先：ルチロ郡ムシュバチセクター事務所

職種・指導科目：コミュニティ開発

出発時住所：三重県松阪市

予定されている活動内容：

1. 任地のコーヒー農家の生産状況等を調査・把握し、コーヒー農家に対する能力強化支援を行う。
 - コーヒーの収量・品質向上を目指したコーヒー農家・組合への啓発活動の実施。
 - 栽培に関する技術向上支援。
 - コーヒーの定植・管理状況に関する監督・助言等。
2. 同セクター事務所へ活動報告を随時行う。
3. 必要に応じて他のコーヒー関連隊員と情報共有・協働を行う。

活動内容と抱負：

コーヒー分野の新規派遣で、農家の収益の向上や生産性の向上を目的とした派遣で、2年間でその土台をしっかりとつくれる様に活動していこうと思う。

JICAボランティアプロフィール

地割 聖（じわり せい）さん

ボランティア種類：青年海外協力隊

派遣国：ザンビア共和国

配属先：ニンバ郡農業事務所

職種・指導科目：コミュニティ開発

出発時住所：三重県鈴鹿市

予定されている活動内容：

農家を取りまとめるキャンプオフィサー（農業普及員）とともに下記の活動を行う。

1. 地域の生活環境を知るためのフィールドワークを実施し、現状を把握する。
2. デモ圃場の整備、ワークショップの開催などにより、稲作の普及促進を図る。
3. 稲作希望農家を巡回し、稲作適地の選定などの具体的な指導・アドバイスを行う。
4. 農閑期には農家の生活向上・収入向上につなげるための活動（作物保存方法の改良やSHEPアプローチの普及など）を行う。

※JICAコメ普及支援プロジェクトから技術支援を受ける機会がありますので、稲作に関する専門知識や経験を有している必要はありません。

活動内容と抱負：

国家プロジェクトとしてコメの普及を行っていくため、非常に責任重大であり、結果をいかにして出すかが求められていると思う。少しでもプロジェクトが前進できるように努力したい。

JICAボランティアプロフィール

栗田 修（くりた おさむ） さん

ボランティア種類：シニア海外ボランティア

派遣国：アルゼンチン共和国

配属先：発酵工業研究開発センター（C I N D E F I）

職種・指導科目：化学・応用化学

出発時住所：三重県いなべ市

予定されている活動内容：

同配属先同僚らと協働し、以下の活動を行う。

1. 農産物加工廃棄物や食品加工廃棄物等を有用物質に変換する研究を支援する。
2. ぼかし肥料など廃棄物の微生物を用いた研究を支援する。
3. 日本の発酵食品に有用とされる微生物の研究を支援・助言する。

活動内容と抱負：

微生物を利用し、農産物廃棄物・食品加工廃棄物を有用物質へ変換する研究支援や、日本の発酵食品の有用微生物に関する研究支援を行う。また、研究成果を国内関連産業に普及すると共に、学術活動を行う。